

八幡市 歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略 概要版

未来戦略の目的

石清水八幡宮とその門前町としての目指す姿を設定し、具体的な進め方を期間別に示す。

かつては石清水八幡宮に詣でる参拝客で大変賑わっていた場所
千年以上の歴史や日本文化を伝えられる場所を再構築

コンセプト

「神仏習合の聖地」の創造

神仏習合の聖地として
日本から、世界から、訪れたい聖地となる

日本独特の神仏習合の信仰の聖地
石清水八幡宮

神と仏を平和に合わせて祀った八幡信仰は、平和を目指す日本が世界に向けて発信すべき国際拠点

2つのエリアでの戦略

方向性

エリア A

史跡
石清水八幡宮境内
(隣接地含む)

空中茶室「閑雲軒」にまつわる
新たな観光名所創造

閑雲軒跡をはじめとする史跡の観光活用

既存周辺施設の活かし方
およびアクセス性の向上

目指す姿

男山展望台に創る「新・空中茶室」
空中茶室のイメージを先導するストーリー性ある施設

エデュテインメントの場づくり
学びながら楽しめる文化サロンの場

頼宮の活性化
下賜建物の頼宮齋館・頼宮参集所の公開
神聖な雰囲気をまとう建造物の保全

新たな導線の形成とアクセス性の向上
一ノ鳥居から歩いて上がりたくなる仕掛けづくり
山上および山下駐車場の環境づくり

神仏習合の特性を活かした史跡の整備
神仏習合の宮寺+自然とともにある日本の精神性

親しまれる史跡の活用
坊跡の散策路整備や参道沿いの継続的な環境整備
瀧本坊跡の優先的な整備

方向性

エリア B

京阪石清水八幡宮駅界隈
から東高野街道沿い

古民家の活用

保存・整備の検討

目指す姿

全体 地域住民の誇りにつながる東高野街道づくり

4エリア

駅前・放生川エリア
八幡の玄関口で観光客の接点

- ・景観形成
- ・おもてなし機能の充実

優先して着手

城ノ内エリア
古民家のカフェ化やイベント時公開などの動き

古民家を活用した事業者などへの支援

神原エリア
由緒ある古民家が多い

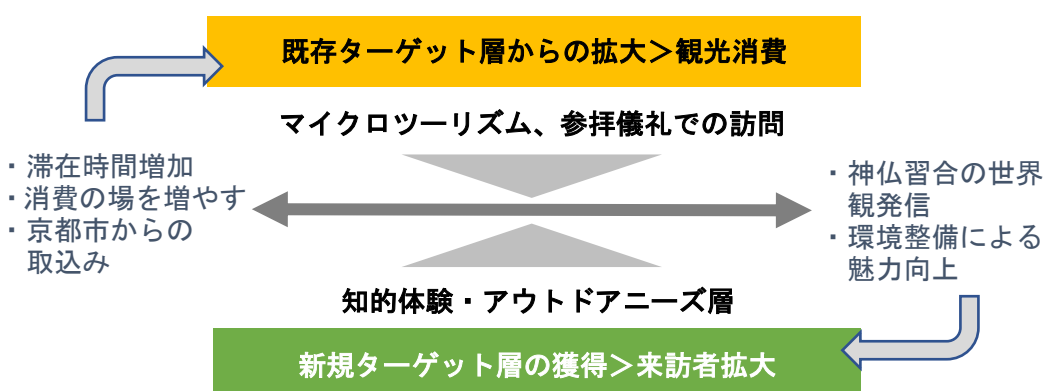
地域住民がふれあい、来訪者と交流できる拠点整備

松花堂エリア
神仏分離で石清水八幡宮から移築された建物が歴史を語る

- ・第二の玄関口として景観向上
- ・外国人観光客向けの整備

ターゲット戦略

- ☑ 従来からの参拝客の滞在時間を延ばすことで消費を拡大。見どころや消費の場を増やし観光消費を高める。
- ☑ 新規ターゲット=日本古来の信仰や自然との共生など、日本の精神文化に興味を持つ国内・海外からの旅行者
⇒「神仏習合の聖地」としての環境整備が必要



具体的な進め方

エリアA 石清水八幡宮境内の賑わい創造

エリアB 東高野街道の賑わい創造

短期 (5年以内)	① 男山展望台（上面および下のアプローチ）の足元整備 新・空中茶室創造 閑雲軒が崖にせり出し空中を散歩するような演出が凝らされていたことを来往者が感じられるよう、展望台上面の一体的な足元整備を行うとともに、下面へのアプローチを整備する。
	② エデュテインメント施設としての「新・空中茶室」設置 新・空中茶室創造 男山展望台に、空中茶室「閑雲軒」をモチーフにしたデザインで、踊り口に至る廊下での驚きの体験や、茶文化など日本文化を体験できるような、学びながら楽しめる施設を設置する。
	③ 男山四十八坊跡など魅力探求ツアー開催とニーズ集約 史跡の観光活用 坊跡の歴史や男山の自然体験などを題材としたツアーを開催しながらニーズを集約し、課題整理したうえで内容の充実化を進める。
	④ 男山四十八坊跡の散策路整備・瀧本坊跡（閑雲軒跡）の環境整備 史跡の観光活用 神仏習合の聖地であったことが体感できるような坊跡内の参道を散策路として整備し、坊跡での静かな時間を楽しめる環境整備を行う。また、閑雲軒の書院跡や石垣の整備を行い、解説板や手すり設置など安全対策により新たな山内の名所となる整備を行う。
	⑤ 頓宮周辺の魅力向上 周辺施設・アクセス 下賜建物である頓宮齋館・頓宮参集所の公開、山下の遊休施設の活用、トイレ改修など駐車場関係の整備、頓宮周辺地区の魅力向上を図る。
中・長期 (5年以上)	① 男山展望台下のアプローチ沿い施設の整備 新・空中茶室創造 NPO 法人八幡たけくらぶなど、男山・石清水八幡宮と関わりのある活動を促進する施設を整備するとともに、エジソンと男山の関係を紹介する。また、人の流れができることにより、観光客の消費の場となるような民間事業の参入を促進する。
	② 文化サロンの利用状況を生み出す 新・空中茶室創造 エデュテインメント施設としての「新・空中茶室」活用を促進する中で、ライブラリーカフェ文化サロンのような民間事業の参入を促進する。
	③ AR や映像も活用した坊跡でできる体験メニューの造成 史跡の観光活用 坊のストーリーの理解を深めて、各坊にちなんだ心を充たす体験メニューをARや映像も活用した中で造成し提供する。
	④ 男山四十八坊跡の環境整備 史跡の観光活用 石垣保全、景観阻害樹木の除去など次世代に受け継ぐ整備とともに、埋もれた参道の復活や、その他の坊跡の整備などを行う。
	⑤ ビジターセンター機能の設置 周辺施設・アクセス 頓宮周辺建物や駅前に、ビジターセンターの機能を持った施設を設置し、神仏習合の世界観を伝える場づくりを進める。
	⑥ 歩いて上がる導線の強化 周辺施設・アクセス 一ノ鳥居から歩いて上がることが楽しめるような環境整備を強化し、駅前から案内する仕掛けをつくって新たな観光導線を形成する。

短期 (5年以内)	① 駅隣接地区のファサード ¹ 整備 駅前・放生川エリア 駅前の建物について、門前町の玄関口としてふさわしいファサード整備を行う。
	② 拠点古民家の活用 神原エリア 中間地点として候補に挙がる古民家については民間活用も含め、地域住民に愛される活用方策の可能性を調査し整備に向けた取組を進める。
	③ 古民家保全を目的に所有者の支援策を導入（マッチングや負担軽減策など） 全体 今残る貴重な古民家について保存や相談の仕組みをつくり、活用希望者とのマッチングや、所有者の維持管理にかかる負担軽減につながる方策を検討し導入する。
	④ 東高野街道の案内標識の整備 全体 駅前から松花堂庭園・美術館まで、東高野街道を迷わず歩けるよう、おもてなし環境整備として案内板の設置を行う。
	⑤ 神仏習合のストーリーを活かしたソフト事業の展開 松花堂エリア 旧中昼店の公開や、松花堂庭園・美術館での既存の文化体験の充実など、ソフト事業の展開を通して、松花堂昭乗や神仏習合のストーリーをPRする。
中・長期 (5年以上)	① 東高野街道沿いの修景整備の促進 駅前・放生川エリア 東高野街道沿いの景観形成について、古民家の保存を含め、沿道建物が調和した修景に取り組む。
	② 松花堂庭園・泉坊書院の活用検討 松花堂エリア 書院など内園整備完了に合わせ新たな体験メニューを構築し、石清水八幡宮など他スポットとの周遊の仕組みづくりや庭園に付随する美術館の機能強化を行う。
	③ 空き店舗への出店促進、既存店舗の事業継承 全体 エリア内の空き店舗に、門前町の賑わいにつながる店舗の出店を促進するとともに、街道沿い既存店舗が継続営業を図るため、事業継承についての支援などを行う。
	④ 安全に歩ける環境・移動手段の確保 全体 安全な歩行環境整備とともに、各エリア間の快適な移動手段の確保を進める。
	⑤ 古民家を活用した宿泊施設や店の開業促進 全体 民家を活用した飲食や宿泊に対する出店を促進する。
	⑥ エジソン生家博物館の建設 駅前・放生川エリア エジソンと本市の関係を後世に伝える拠点となるエジソン生家博物館を建設する。
	⑦ 松花堂エリアの賑わい創造と大阪方面からのアクセス強化 松花堂エリア 飲食などの消費の場を含めた賑わい創造をはかる。枚方方面から八幡への誘導など、誘客ルートについては戦略的なアクセスを確立して誘導を行う。

¹ ファサード：建物を正面から見たときの外観のこと。